

## 現状認識

- ◆ **新型コロナウイルス感染症の影響が長期に及んでおり、引き続き対応が必要。**ワクチン普及を踏まえた社会経済活動の回復に向けた動きも見られる。
- ◆ 感染症への対応により**生活様式に変容**が生じている中、**気候変動リスクの顕在化**や、**デジタルをはじめとする未来技術の進展**などにより、急速なスピードで社会環境が変化している。

## 基本的な考え方

- ◆ 新型コロナウイルス感染症からの「**守り**」の視点と、ポストコロナを見据えつつ本道の強みを活かす「**攻め**」の視点
- ◆ **道が自らフロントランナーとして、道民にわかりやすく、実感が得られるような形で、新たな課題に先進的に取り組む**
- ◆ 関係企業・団体や振興局・市町村等との**ネットワーク**のほか、これまでの**道政を通じて培ってきたデータ・ノウハウ**といった「**財産**」を**最大限活用**しつつ、効果的・課題横断的に施策を推進

### 守りの視点

新型コロナウイルス感染症から「**道民の命と暮らし**」を守る

- ・ 「医療体制の構築」、「感染防止の徹底」、「ワクチン接種」を柱とした感染拡大防止対策を推進
- ・ 道民生活や経済社会への影響の最小限化に向けた対策の推進

### 攻めの視点

ポストコロナを見据えた長期的な展望のもと、本道の「**強み**」を活かした**先駆的な取組を推進**し、成長を加速

ウィズコロナを踏まえ、従来の施策を見直しつつ加速

将来を見据え、今から取り組むべき施策を先取り

- ・ 生活様式の変容を踏まえ、地域創生や経済再生に向け、食や観光の振興、交通・物流ネットワークの構築等を重点化しながら推進
- ・ コロナ禍の逆境下において、人づくりや子育て支援等、**未来に繋がる施策の充実**

- ・ 本道の強みを活かし、国との密接な連携を図りながら、成長の柱としてゼロカーボンやDX(デジタルトランスフォーメーション)など新たな課題への取組を一体的に推進